

「ファインバブル技術/2025年万博宣言」FBIA 会長挨拶文
(2025年7月17日大阪関西万博会場 EXPO ホール開催)

ファインバブル産業会会長の森川でございます。

この度、「地球上の80億人のための安全・健康・ウェルビーイング」の実現を標榜する GISHW 活動に参画し、その重要イベントである FESTIVAL において、ISO 会長、経産省幹部を始め多くの同志ご臨席のもと、「ファインバブル技術 2025 万博宣言」を世界に向けて発出出来る事を光栄に存じます

日本は、ファインバブル技術の先進国として、2012年、ISO にファインバブル技術の TC を提案設立して以来、参加国との協力の下、ISO 規格化を通じてファインバブル産業のグローバル発展に務めてきました。その間、ISO 規格作りに参画する TC 参加国数は、P メンバーが設立時の 5 か国から、10 か国に倍増し、O メンバーを含めた参加国数は 15 か国から 22 か国に増加しております。既に 35 規格を発行する成果を上げると共に、18 規格が審議中という成長のスパイラルを生んでおります

これまでの ISO 規格化は各国のファインバブル産業創成に大きく貢献しております。

具体的には、ファインバブル技術に関する用語定義を含む基本要素の規格化により、ファインバブルという極小の気泡が洗浄、生理活性、成長促進等の機能を発揮することが明確となり、発芽促進、橋梁洗浄等のアプリケーション規格を作成する事で、技術や応用が明確に説明される事になりました。

また、特性評価および計測技術の規格化により、シャワーヘッド、洗濯機、食洗機等での認証が可能となり、ファインバブル技術の信頼性が向上しました

更に、SDGs 関連規格化を他の TC に先駆けて実現する事で、本技術が持続可能な社会実現に貢献可能との評価を獲得しています。

本万博でも、大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「ミライ人間洗濯機」、「みんなトイレ」、「いのちの湧水（いずみ）としてアクアポニクス」、また「ファインバブル電解水による自動手洗い器」等を通じて、ファインバブル技術をご体験いただけます。

このように、ファインバブル技術は、他の技術に勝るペースで、「生活をもっと楽で安全で良いものにする」という ISO2030 戦略を達成し、産業創成に邁進していると自負しており、私は、今回の「ファインバブル技術 2025 万博宣言」を礎として、日本においてファインバブル国際会議と国際展示会の、定期開催を実現したいと考えております

最後になりますが、明日この EXPO ホールで、80 億人のウェルビーイング実現を目指す GISHW 活動を継続する証（あかし）として、2030 年リヤド万博を開催するサウジアラビアへの日本からのバトンを手渡すセレモニーが開催されます。

日本のファインバブル産業会はその流れに共感、共鳴し、より一層の ISO 規格化と推進ならびに産業創成 に務め、次のリヤド万博におきましても、ファインバブル産業発展の報告を行えるよう更なる努力を継続することを誓い、私の挨拶と致します。